

応援ネットワークの取組について

3. 株式会社アブ・アウト（らーめん山頭火）様

2010年よりカナダのバンクーバーやシンガポール、台湾、アメリカのシアトルなどの海外店舗において、アイヌ文様を店舗のデザインに取り入れたり、工芸品の展示などでアイヌ文化を発信しています。

平成29年6月1日に札幌駅前地下歩行空間にオープンした「らーめん山頭火 札幌北1条チカホ店」の店舗において、「民族共生象徴空間」PRポスターの掲示、アイヌ民族の工芸品、タペストリーの常設展示、店舗内装にアイヌ文様を取り入れるなど、国内店舗では初めて、アイヌ文化の情報を発信し、2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設機運を醸成しています。



2. JTB北海道様

2017年5月、「北海道海鮮和食と道産酒 海空のハル」がオープン。「アイヌ民族博物館・ルイカプロジェクト」及び「北海道広域道産酒協議会 主体JTB北海道（ハ酒ポート）」とのコラボレーションにより、アイヌ料理と道産酒、道産食材の発信に協力しています。

「ハル」とは、アイヌ語で『自然から恵まれた食糧』の意味。

店内には、アイヌ民族博物館協力の元、アイヌ民族の伝統家屋「チセ」を模した特別個室（ハルのチセ）をつくり、アイヌ伝統料理とともに気軽にアイヌ文化に触れるきっかけを提供できる環境を整備しています。

2020年、白老町に一般公開する「民族共生象徴空間」の開設に向けた機運の高まりと、白老に伝わるアイヌ文化に触れ、今年最終年を迎えるアイヌ民族博物館（白老）へ足を運ぶきっかけづくりに取り組んでいます。

(H29. 5. 18オープン)



応援ネットワークの取組について

1. 丸井今井札幌本店 様 （札幌商工会議所）

平成29年5月に創業145周年を迎え、これまでの「丸井」の「M」を表したショッピングバッグを、5月1日から、アイヌ服飾文様研究家の津田命子氏が実際に刺繍したものを画像にしたアイヌ文様をデザインした新しいショッピングバッグに一新しました。

デザインの変更は26年ぶりで、ハートに近い独特の文様を、丸井のイメージ色の赤と北海道を囲む海の青で表現し、ショッピングバッグを通じ、アイヌ文化を発信しています。



民族共生象徴空間PR事業ポスターの掲示協力について

1. JR北海道 様

平成28年11月1日から、札幌駅、新千歳空港駅、新函館北斗駅など計28駅、34枚（日本語版28枚、英語版6枚）を掲示していただきました。

2. 北海道空港株式会社 様

平成28年10月中旬から、新千歳空港ターミナルビルにおいて、計12枚（日本語版6枚、英語版6枚）を掲示していただきました。

3. 株式会社北洋銀行 様

平成29年1月16日から、北洋銀行全169店舗にて、各店舗1枚掲示していただきました。

4. NHK札幌放送局 様

平成29年1月20日から道内各放送局7カ所にて各放送局1枚掲示していただきました。

5. 登別市 様

平成29年1月25日から市内の21施設（市内5中学校にふりがな付きPRポスター配布含む）21枚を掲示していただきました。

